

令和元年度

学校だより

3月



令和2年 2月28日 3月号 (第529号)

横浜市立すすき野小学校

TEL045 (901) 6232 FAX 045 (904) 4693

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/susukino/index.cfm>

すこやかスマイル すすんで考え行動し きょうかし合う すすきっ子

～ 感謝 学校だより最終号 ～

校長 三橋 国雄

3月弥生、町のいろいろなところで梅や桃の花が咲き始めました。これからきれいな景色の季節になります。今年は寒暖の差が大きく体調を崩しやすいので心配です。またコロナウイルス、インフルエンザ等のニュースが連日報道されています。健康面の配慮をしっかりとしながら、年度末のまとめをしっかりとしていきたいと思えます。

～感謝～

『ありがとうございます』『お世話になりました』そんな言葉だけでは伝えきれないたくさんのお礼があります。1974年5月1日に開校したすすき野小学校は、令和2年3月31日をもって46年間の歴史にいったん幕を閉じ閉校となります。

すすき野小学校はすすき野団地やすすき野の街とともに育ってきた学校です。すすき野小学校ができるまでは、ここから山内小学校まで通っていたそうですから、地域の皆様の願いや、保護者の皆様の強い思いのなか期待されながらすすき野小学校は開校したことと思います。しかし皆様もご承知のように児童数の減少により令和7年には全校児童数が77名になるという人口推計が出されています。学校を閉じることについては、色々なご意見がありましたが、最終的にはすすき野小学校の子ども達に様々な経験を積ませ、多くの子ども達と切磋琢磨することにより、大きな成長を期待することを選択しました。

「竹に上下の節あり」と言いますが、台風で暴風雨にあっても、雪が積もっても、折れそうで折れないのは竹に節があるからと人生の節の大切さを説いた禅の教えだそうです。すすき野小学校の子ども達にも今回のことを一つの節として、より強く、たくましく、そして優しく育てたいと願っております。「未来へ巣立つ学校」で1年間学習してきた子ども達です。それぞれの学校でも自信をもって過ごしてくれると思っています。

あと3週間で卒業する6年生には、もうすぐ次の3年間が始まります。この3週間は、6年生にとって中学に向かう一人ひとりの心づくりの期間だと思います。乗り越えられないことはありません。一歩ずつ、まずは目の前の3週間を。そして、その向こうに広がる3年間を、自分の目標をしっかりとって過ごしてほしいと思います。また5年生にとってこの3週間は、最上級生として次に向かう新しい学校を引っ張っていけるように一人ひとりの心づくりの期間だと思います。ですから5年生も自分の目標をしっかりとって過ごしてほしいと思います。心の底から、声を限りに応援します。

令和元年度の1年間を通じて保護者の皆様そして地域の皆様、学援隊、すすきのくんの会の皆様、エプロン先生で1年生支援をしてくださった皆様、教育ボランティアの皆様、学校教育に深い理解と温かいご支援を賜りました。お世話になりました。ありがとうございました。子ども達はこれからも、すすき野の町で育ち続けます。今後も引き続き変わらぬご支援をお願いいたします。すすき野小学校から心をこめて、そして声をそろえて感謝の言葉を贈らせていただきます。

お世話になりました。ありがとうございました。

